



「GIGAスクール」スタート！まずは授業で！！

「GIGAスクール構想」という言葉を耳にされたことはあるでしょうか。学校教育の世界では、最近触れることが多い言葉の1つなのですが、この言葉をテレビコマーシャルでも耳にするようになりました。

この「GIGAスクール構想」により、子ども一人に1台、タブレット端末（i-pad）が整備され、校内の通信環境も高速大容量化の工事が終わりました。

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、学校が臨時休業となり、学校と家庭をオンラインで結ぶ遠隔授業が話題になりましたが、整備されたタブレット端末を、まずは日頃の授業で活用していきたいと考えています。

例えば、生活科や理科、図画工作の時間に写真を撮影し観察記録を作成したり、体育での表現活動で動画を記録したり、社会科で情報検索をしたりしています。低学年の子どもたちも、すぐにIDやパスワードの入力に慣れて楽しそうに使っていました。

まだまだ始まったばかりで、機器的なトラブルもあり戸惑うこともありますが、教員も実践・研修を重ねて、子どもたちの力を伸ばしたいと思います。



外で観察した花や虫などを、タブレット端末で撮影しました。タブレットの写真は、細かいところを大きくすることができるので、細かいところまで観察できます。使いこなすのは、大人よりも子どもの方が、早いのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底を

非常事態宣言の対象地域が広がり、萩市でも5月19日に基本的対処方針（～31日）が出されました。学校においても、こまめな手洗い、換気、密を避けるなどの基本的な対策の徹底について、子どもたちに指導をしました。各家庭においても、毎朝の検温、マスク着用等、引き続きご協力をお願いします。発熱等の風邪症状がみられる場合は、登校を控えていただきますようお願いします。

基本的対処方針（萩市）

- 1) 県外との往来の自粛
- 2) 外出機会の半減
- 3) 感染防止対策の徹底
- 4) 事業活動における注意
- 5) 感染された方等への差別・偏見の防止